

有田町新型コロナウイルス ワクチン接種計画

令和3年3月19日
有田町健康福祉課

有田町スタイル

【有田町の総人口】（R3.1.1時点） 19,500人（16歳以上人口16,861人）
65歳以上： 7,052人、 その他一般 9,809人

【接種率の想定】 80%
（今期の高齢者インフルエンザワクチン接種率73%）

接種期間 高齢者：最初の10週間で1回接種完了予定（ファイザー社製ワクチンを想定）

早い 近い 安心

早い 最短の間隔で、速やかに接種できる体制を確保
近い 町内に点在する診療所で接種が可能 平日忙しければ土日に
安心 基本的にはかかりつけ医が接種するので安心

基本的接種方法

- 個別接種と集団接種をミックスすることで短期間での接種完了を予定
- 平日診療所での個別接種をメインに、土曜及び日曜日に集団接種でカバーする
- 有田地区医師会の協力のもと、町内10診療所で個別接種の実施
- 集団接種は、有田町福祉保健センターの2階会場で行う
- 予約は、個別接種、集団接種とも健康福祉課が設置するコールセンターで受け付ける

ハヨウトウ
コールセンター電話（0955-25-8410）と
WEBで 24時間体制での予約受付体制で実施する

} 電話とWEBで予約
WEBで一元管理を実施

接種の実施期間

- 新型コロナウイルス感染症に関わる臨時の予防接種実施要領に示す期間とする

対象者の範囲

- 原則として接種を受ける日に有田町の住民基本台帳に記録されている人が対象。
- 長期入院、長期入所している方や出産のために里帰りしている妊産婦など、やむを得ない事情による場合には接種が可能。
- 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づく、いわゆる薬事承認において接種の適応にならない方は対象にならない。

接種順位

当分の間、確保できるワクチン量に限りがあるため、国が示す優先順位のとおりに進める。

- 1、医療従事者等
- 2、高齢者（令和3年度中に65歳に達する者）
- 3、基礎疾患を有する者、高齢者施設等の従事者（高齢者施設入所者との同時期接種も可）
- 4、60～64歳の者
- 5、接種当日16歳以上の上記以外の者

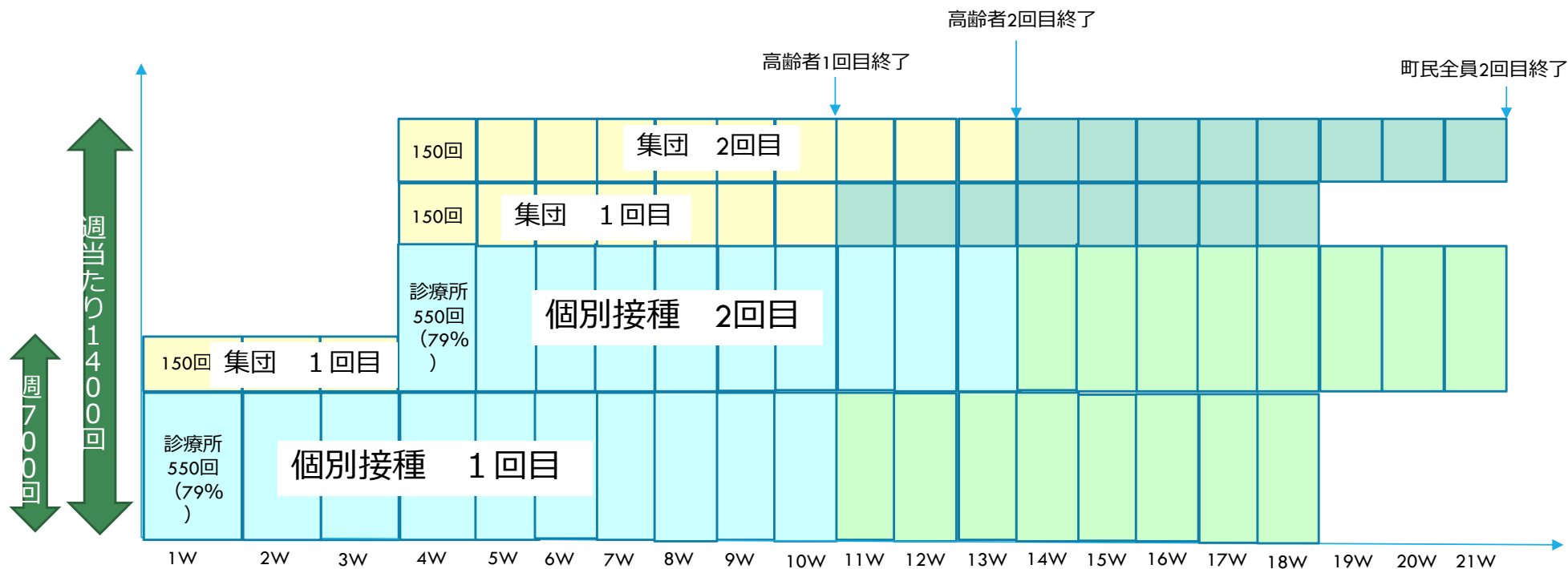
対象者数

(R3.3.1時点 R3年度末年齢 16歳以上人口16482人)

対象者	対象者数根拠	対象者数	接種率80%人数
医療従事者	県調査結果(1/26時点)	585	
入所者以外の 65歳以上高齢者	65歳以上の人口	6508	5206
高齢者施設入所者	定員数	571	457
基礎疾患を有する者	60～64歳人口の6.3% 20～59歳人口の4.9%	471	377
高齢者施設等の従事者	人口の1.5%	293	234
60～64歳	60～64歳の人口 — 同年齢層の基礎疾患を有する者	1291	1033
上記以外の16歳以上の人口	16歳以上人口 — 上記人口	6763	5410

ファイザー社製ワクチンの供給がスムーズで、1週間で1400回の接種ができ、町民の80%の接種が完了するために必要な日数

- 施設入所者以外の高齢者5,206人、一般7,054人、2回接種で 24,520回 の接種が必要
- 週当たり1,400回接種することで、21週間で2回接種（24,520回）が完了



2社または3社のワクチンが町内に混在する時に 2回目のワクチンの間違いを防止する対策

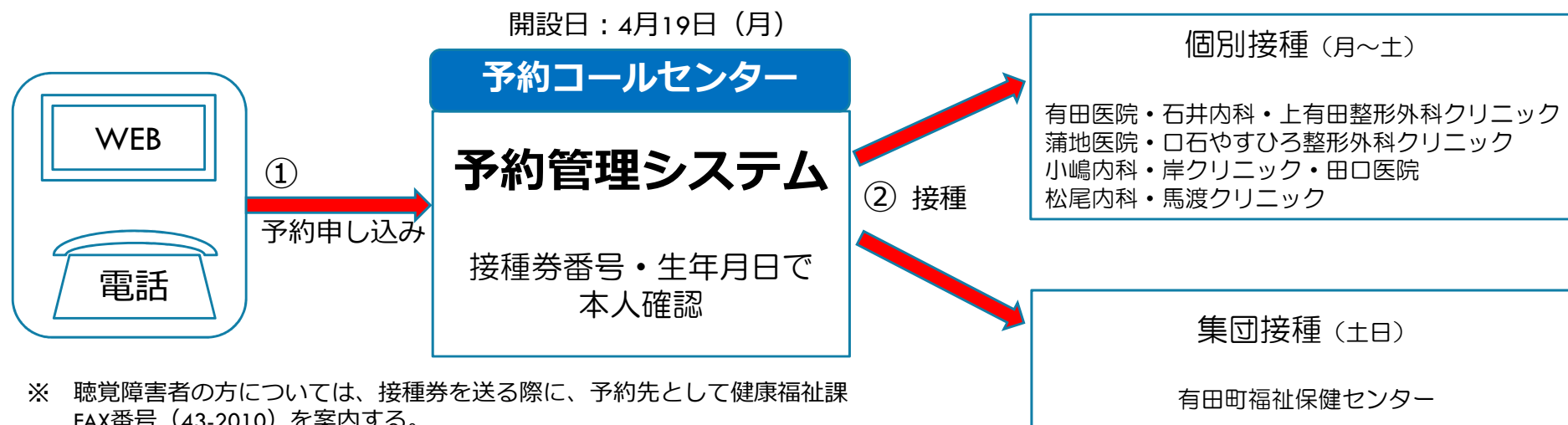
ファイザー社製：-75℃ディープフリーザーで管理（福祉保健センターから小分け）
モデルナ社製：-25℃ディープフリーザーで管理（福祉保健センターから小分け）
アストラゼネカ社製：2～8℃で冷蔵管理（卸倉庫から各診療所へ直送）

- 2社または3社の供給時期が重なった時

扱うメーカーの曜日で決めて接種する（R3.2.8医師会と決定）

<例> 月・水・金 ファイザー社製ワクチン日
火・木・土 他のメーカーのワクチン日

予約コールセンター ☎0955-25-8410 (ハヨウトウ)

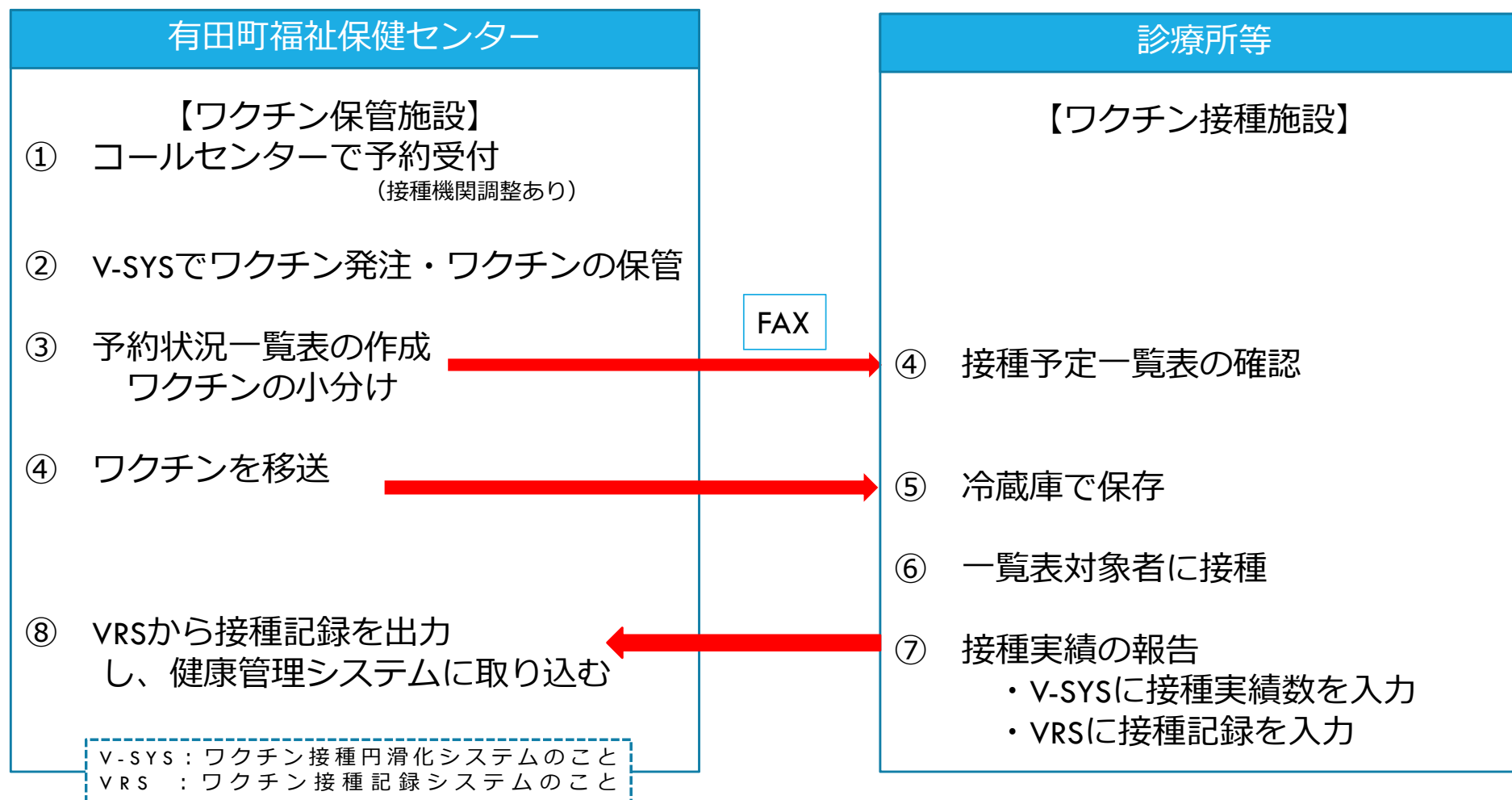


会場までの交通

原則、各自で移動してもらう。

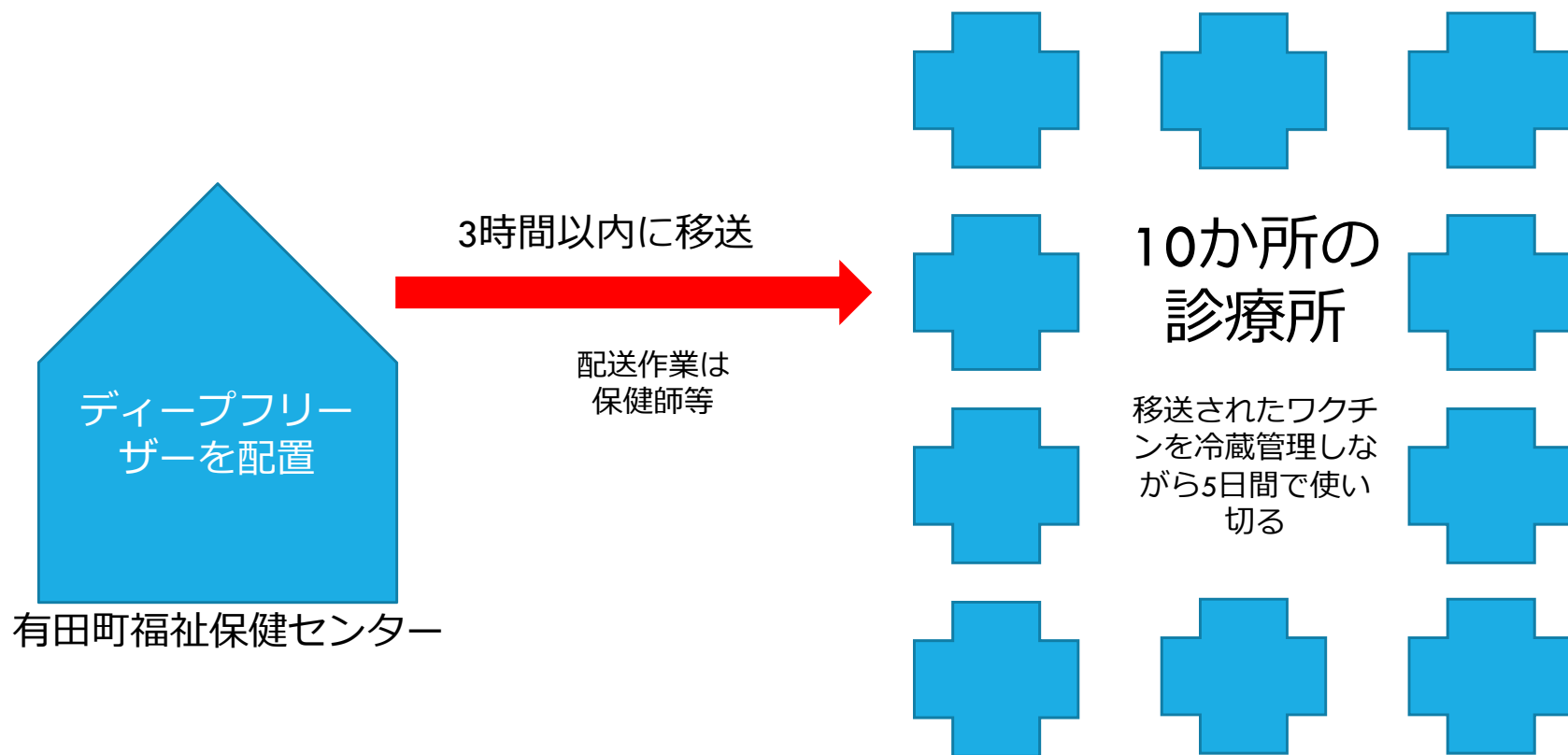
交通手段がどうしてもない場合には、町が委託したタクシーを片道200円で利用することができる。

ワクチン小分けによる診療所での接種

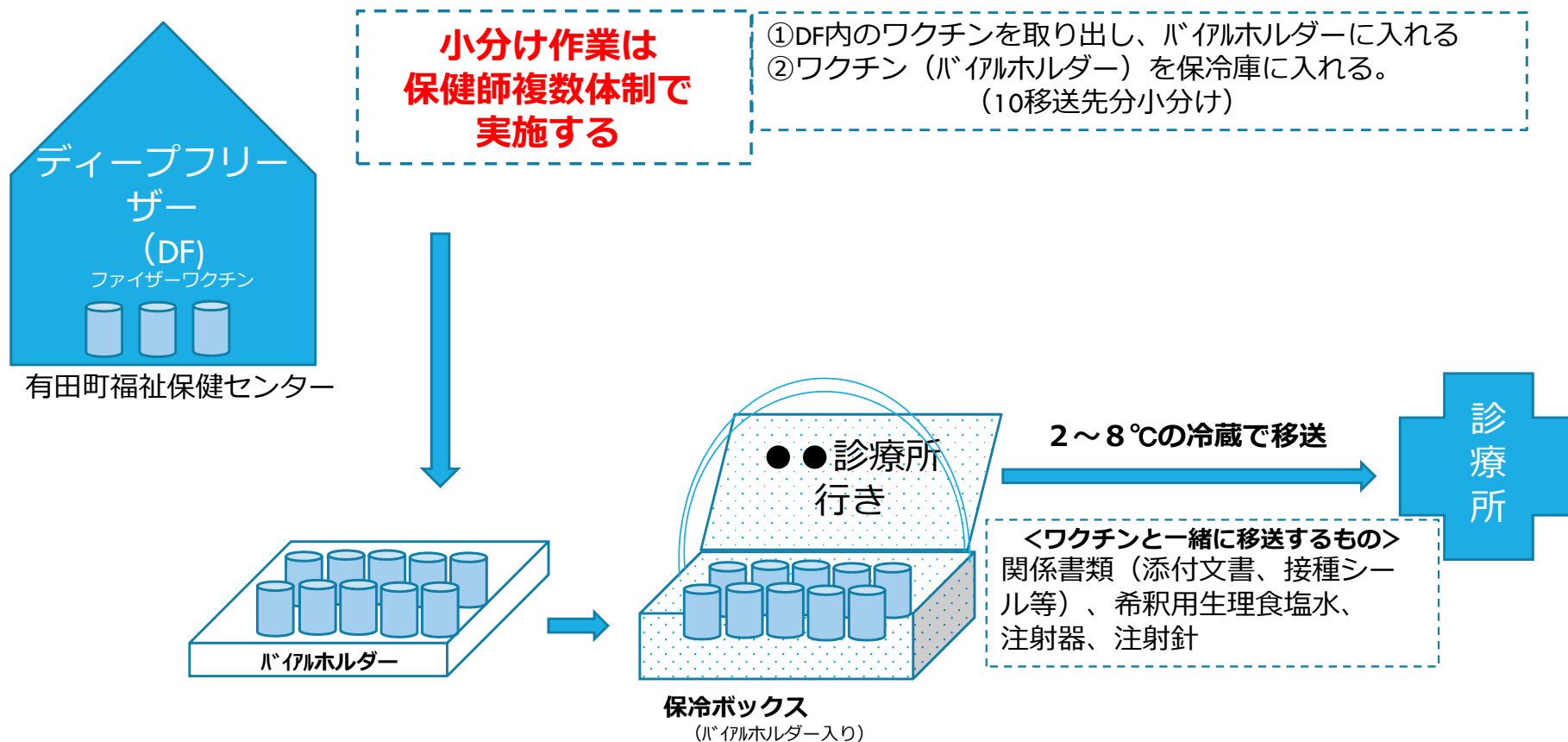


ファイザー社製ワクチンの小分け方法

基本型接種施設の有田町福祉保健センターより、サテライト接種施設の各診療所に小分けして移送する。小分け移送は、週3回の予定



ファイザー社製ワクチンの小分け作業フロー



訪問診療受診者及び高齢者施設等入所者への接種

●町内在宅訪問（巡回接種）

訪問診療を受けている患者へのワクチン接種は、町内の主治医が行う。

●町内高齢者施設等入所者数（サテライト型接種・巡回接種）

・サテライト型接種：介護老人保健施設（1か所）は、施設医がワクチン接種を行う。

・巡回接種：特別養護老人ホーム（3か所）、有料老人ホーム（1か所）は、当該施設の嘱託医がワクチン接種を行う。

（特別養護老人ホーム2か所と有料老人ホームの嘱託医は町外の病院であるため、町外病院から巡回接種をしていただけるように調整済み）

※障害者支援施設（1か所）及び宅老所

基本的に通院可能者は、個別接種で医療機関で接種すること（R3.2.8町医師会と決定）

1日に接種する件数を5の倍数となるよう担当医師とスケジュールを作り、ワクチンを小分けする。

ワクチンを無駄にしない取り組み

- 診療所での接種体制は、有田町地区医師会の協力により構築。
ワクチンの取り扱い上の注意（5日間で使い切るなど）については、周知徹底する。
- 週3回ワクチンを移送し、5日以内に接種を完了する体制を構築する。
- コールセンターでは、バイアル（1瓶）ごとの接種回数の端数が生じないように、予約を受け付ける。
- 当日のキャンセルに備えて、下記の方法により廃棄されるワクチンの発生を抑制する。
 - ① 高齢者施設等の従事者にあらかじめ協力を依頼しておき、急なキャンセル発生時に電話で連絡し来所してもらい接種する。（基本的には高齢者施設入所者接種と同時実施を予定している）
 - ② 集団ワクチン接種業務従事者に残ワクチンを用いて対応する。

事前周知から接種までのながれ（高齢者）

1. 事前周知 ＜3月1日～＞	全戸配布チラシ、町ホームページ、ケーブルテレビ等を活用し町民に周知
2. 接種券の発送 ＜4月中旬以降＞	接種券やお知らせを対象の高齢者（約7,080人）に分割送付
3. ワクチンの調整	①国・県からのワクチン割り当てを受ける ②有田町福祉保健センターから診療所の小分け割り当て（V-SYS入力）
4. 接種会場 予約方法の周知	町HP、ケーブルテレビ、チラシ等にて広く周知
5. 予約開始	有田町コールセンターへ予約（電話・WEB予約システムにて予約）
6. 接種（1回目）	予約した日時・会場にて接種
7. 接種（2回目）	1回目と同じ会場で接種（原則）

※ 高齢者以外についても、上記の繰り返しで実施する予定。

高齢者接種の集団接種当日のながれ

1 階

①受付・入口サーモ体温チェック（接種券紛失対応含む）

<スタッフ>
保健師 2名

②予診票記入・検温・問診

看護師 4名

2 階

③診察（1人当たり2分の想定）

医師 2名

④接種 **（看護師が2チームで高齢者のもとにワゴンで回って接種する）**

薬液補充看護師 2名
接種看護師 2名

⑤接種済証発行（含 プライバシーの確保）

事務 2名

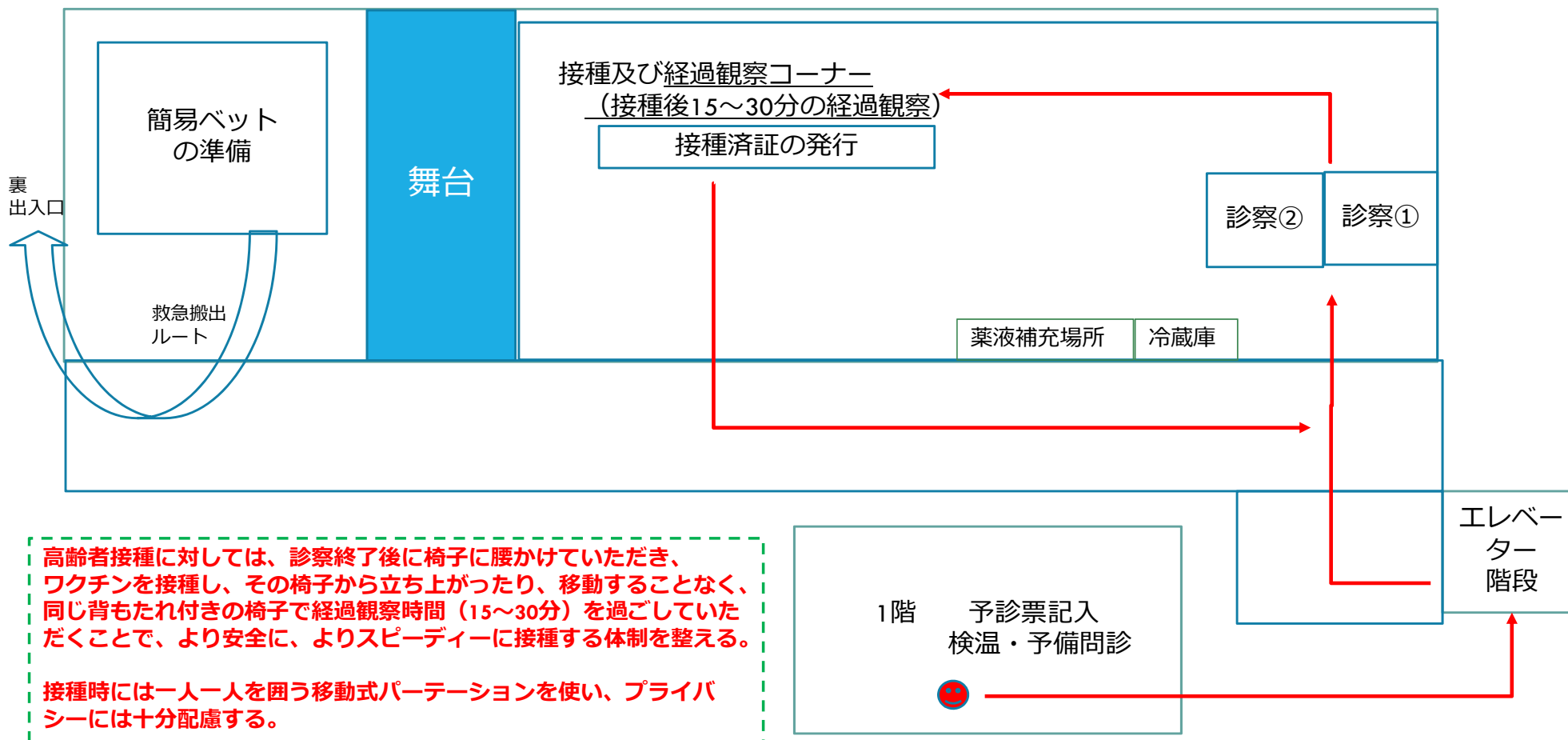
⑥経過観察（15～30分）（タイマー管理）

看護師 2名 保健師 1名

会場案内 3名（含 消毒作業）
駐車場係 2名

高齢者接種会場設営イメージ

有田町福祉保健センター 基本2階会場



一般住民 集団接種当日のながれ

1 階

- ①受付・入口サーモ体温チェック（接種券紛失対応含む）——— <スタッフ>
保健師 2名
- ②予診票記入・検温・問診——— 看護師 4名

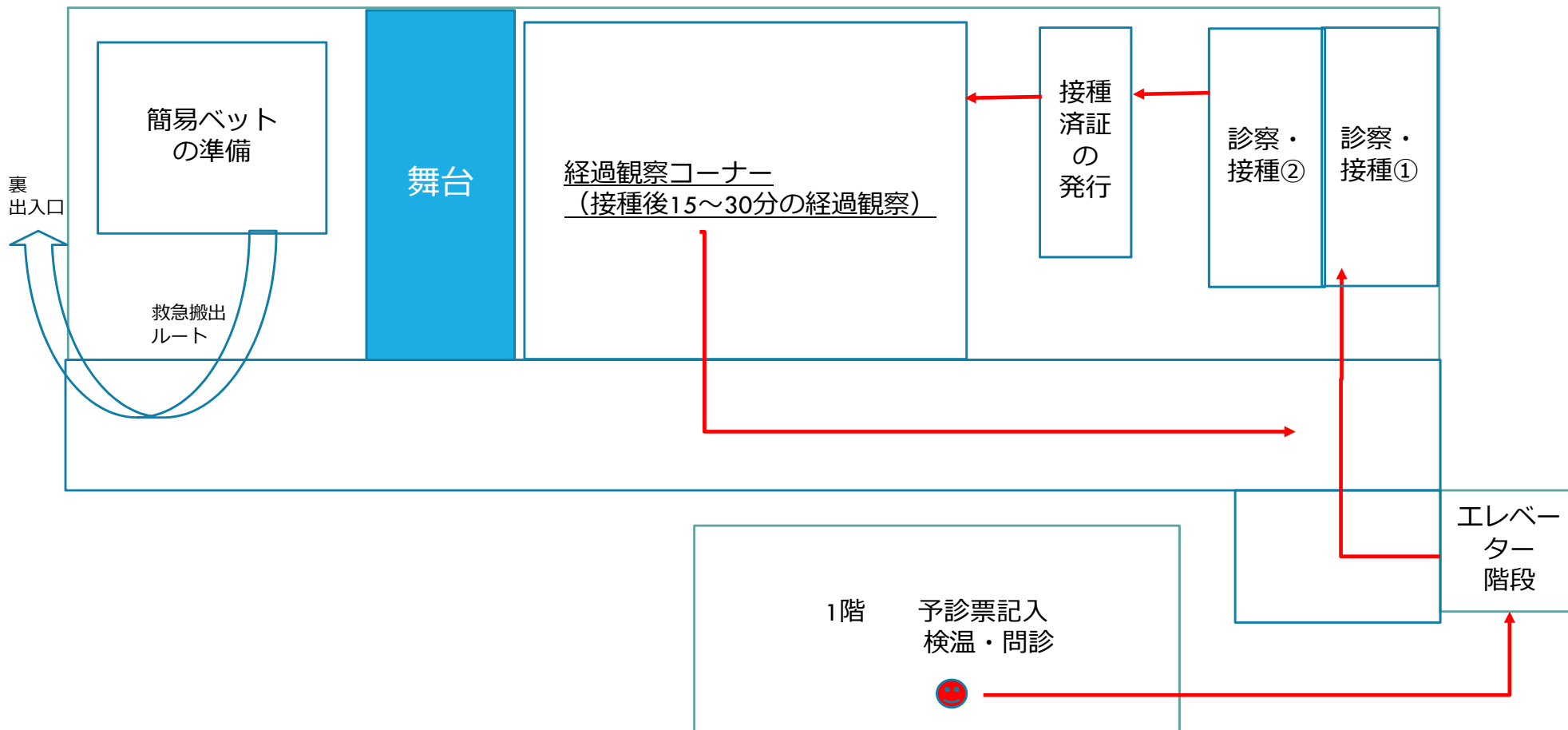
2 階

- ③診察 }
④接種 } 1人当たり各2分の想定
- ⑤接種済証発行——— 医師 2名
薬液補充看護師 2名
接種看護師 2名
- ⑥接種済証発行——— 事務 2名
- ⑥経過観察（15～30分）（タイマー管理）——— 看護師2名 保健師1名

会場案内 3人
（含 消毒作業）
駐車場係 2名

一般住民 会場設営イメージ

有田町福祉保健センター 基本2階会場



副反応等に対する対応方法①

集団接種・個別接種

- ・重篤な副反応に備えて、消防署に接種予定日をあらかじめ連絡しておく。
- ・伊万里有田共立病院で救急対応をしていただけるように連携体制を確保する。

集団接種

- ・伊万里有田共立病院の協力のもと、薬品を含めた救急物品セットを準備し、接種会場に配置する。
(救急物品については、手引きを参考に伊万里有田共立病院医師の協力のもと準備)

副反応等に対する対応方法②

- ・接種後15分は必ず接種会場で経過を観察する。
- ・過去にアレルギー反応を起こした履歴がある方は、30分は会場で経過観察をする。
- ・接種終了後に、副反応が起こった際の対応方法や連絡先、受診すべき副反応などについて記したリーフレットを渡す。
- ・集団接種においては、予備問診時に緊急連絡先情報も入手しておく。

かかりつけ医で接種ができない 場合の安全な接種体制づくり

- ・接種券が配布される前の定期通院時に、あらかじめ主治医と、ワクチン接種について各自相談をしておくように案内する。また、主治医から定期通院時にかかりつけ患者にワクチンについて説明するご協力をさせていただく。
- ・接種時には、お薬手帳の持参を促す。

アレルギー既往者など、副反応が心配される方が接種を希望する場合

- ・かかりつけ医での接種を基本とするが、困難な場合には伊万里有田共立病院に相談することを案内する。

ワクチンの間違いを防ぐ工夫

<間違いが起こる可能性>

- ・本人が2回目の予約時に、1回目のワクチンメーカーのワクチンが分からず間違えて予約したため、違うメーカーのワクチンの接種を行ってしまった。
- ・ワクチンで接種間隔を間違えて接種した。



<対策>

- ① 1回目終了時に2回目の予約をその場で行ってもらう。
- ② 接種券の下の枠外にシールを貼る

1回目 (○/○) ファイザー接種済
2回目の接種時期は
/ ○ : ○○です。